

2020年度 生涯研修講座年間スケジュール

◆ 神戸薬科大学 第46回卒後研修講座

今年度は「薬剤師が向き合うべき新しい医療の流れ」をメインテーマに最近のトピックスを交え、著名な講師陣を迎えて開講します

所属は2020年2月現在のものです。

	開催日	時間	演題・内容	講師
(中止)	5月24日(日)	10:00~11:30	免疫の力を生かした古くて新しい医療	大阪大学微生物病研究所次世代ワクチン協働研究所ワクチン動態プロジェクト 特任准教授 青枝 大貴 先生
		12:20~13:50	【トピックス】 薬剤師業務の新たな潮流 ー病気をもちながら生きる人と伴にー	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 特定講師 岡田 浩 先生
		14:05~15:35	医薬品情報における AI 活用の未来	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域 特任准教授 荒牧 英治 先生
(中止)	30日(土)	10:00~11:30	【トピックス】 糖鎖を知る ー病気への挑戦ー	神戸薬科大学副学長・生化学研究室 教授 北川 裕之 先生
		12:20~13:50	遺伝子、iPS 細胞と「くすり」	大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野 教授 水口 裕之 先生
		14:05~15:35	遺伝子治療とゲノム編集治療 ー知っておきたい先端医療の現状と薬剤師の役割ー	国立医薬品食品衛生研究所遺伝子医薬部第1室 室長 内田 恵理子 先生
(中止)	31日(日)	10:00~11:30	ロボット手術で外科の未来を拓く	堺市立総合医療センター大腸肛門外科部長・消化器外科部長・緩和ケア科部長・緩和ケアセンター長 中田 健 先生
		12:20~13:50	【トピックス】 薬剤師のアンチ・ドーピング活動 ーアスリートを支えるためにー	日本大学薬学部薬事管理学研究室 教授 亀井 美和子 先生
		14:05~15:35	調剤ロボットの発展と変わりゆく薬剤師の在り方	(株)ユヤマ学術部 部長 森 和明 先生

◆ リカレントセミナー

卒後研修講座のアドバンスコースとして疾患・領域別の講座と「学び直し」の講座を

開講します

	開催日	時間	演題・内容	講師
(中止)	4月19日(日)	9:30~12:45	こどもの薬物療法を支える薬剤師 ー地域に根付くことの社会的役割ー 授乳婦の薬物療法とその考え方	神戸子ども初期急病センター薬事グループ チーフ 木村 誠 先生 名城大学薬学部医薬品情報学研究室・医学情報センター 教授 大津 史子 先生
		13:45~17:00	今日から使える! 検査値の見方 <処方提案で悩まないために>	神戸薬科大学医療薬学研究室 教授 力武 良行 先生
(中止)	9月27日(日)	9:30~12:45	もう一度“医薬品の作用機序”を学び直す	神戸薬科大学薬理学研究室 教授 小山 豊 先生
		13:45~17:00	今日から使える! 検査値の見方 <適切な薬学的患者ケアの実践>	神戸大学医学部附属病院薬剤部 主任 谷藤 亜希子 先生 神戸薬科大学医療薬学研究室 教授 力武 良行 先生

◆ 薬剤師実践塾

レベルアップに役立つ演習や実習を交えた実践的な研修会です

	開催日	時間	演題・内容	講師
(中止)	4月 5日(日)	9:30~12:45	患者さんとより良い関係を作るためのアサーション・ワーク	神戸薬科大学臨床心理学研究室 准教授 中島 園美 先生
		13:45~17:00	病態および薬の作用・副作用を識る ーフィジカルアセスメント ベーシック編ー	神戸薬科大学医療薬学研究室 准教授 佐々木 直人 先生
(中止)	6月28日(日)	10:00~15:35	薬剤師の、薬剤師による、多職種連携のための「在宅医療連携ツール」開発講座	特定非営利活動法人 エナガの会 (本学と連携している神戸市垂水区の地域包括ケアシステムにおける多職種連携を推進する団体です。)
(中止)	2月14日(日)	9:30~12:45	病態および薬の作用・副作用を識る ーフィジカルアセスメント アドバンス編ー	神戸薬科大学臨床薬学研究室 教授 江本 憲昭 先生
		13:45~17:00	輸液調製 (基礎編)	神戸薬科大学薬学臨床教育・研究センター 臨床特命教授 山本 克己 先生

◆ 第13回神戸薬科大学エクステンションセンターシンポジウム

	開催日	時間	内容
(中止)	10月18日(日)	13:00~16:30	薬剤師の未来を拓く ー頼れる薬剤師になるためにー 「実践薬学」「実践薬歴」でおなじみの山本雄一郎先生を基調講演に迎え、様々な切り口から頼れる薬剤師になるために必要な視点について議論します。

◆ 症例検討会

	開催日	時間	内容
(中止)	7月12日(日)	13:00~17:00	SGDによる症例検討
(中止)	1月24日(日)		症例を題材に、病態と薬物治療をどのように把握・評価し、臨床介入するかについて、グループで話し合います。また、病院薬剤師、薬局薬剤師それぞれの立場や視点を共有し、どのように薬業連携を進めるかについて議論します。

●研修内容の詳細はホームページでご確認ください。